

株式会社増田製粉所

神戸スイーツのかなめ「宝笠」

株式会社増田製粉所は、製菓用の薄力粉をメインに、パン用、麺用など幅広い用途の小麦粉を生産・販売している会社です。創業は、1906年（明治39年）。110年を超える長い歴史をもっています。

同社の製品で特に有名なのが、「宝笠」です。これは、グルテンの形成が少なく、卵白を泡立てた気泡をやさしく包んで壊さないという特徴をもつ製菓用薄力粉です。希少性が高く、神戸スイーツにも欠かせないもので、日本全国多くの菓子職人が愛用しています。

国内での取引が圧倒的に多いのですが、最近では「宝笠」を求めて海外からの引き合いもあり、台湾やシンガポールに輸出しています。



【宝笠のブランドマークが目印】

こだわりの商品づくり



【大きなサイロには小麦が入っています】

増田製粉所の強みは、お客様のニーズに合わせて商品を開発・生産しているところにあります。最近のコンビニスイーツの美味しさには目を見張るものがありますが、その中にも同社の商品が使われているそうです。独自の粉づくりなど、創業からの伝統の良いところは継続しながら、その時代に合ったより良いものを追求し、創造することを目指しています。

経営理念

増田製粉所は、「小麦粉の製造をとおり、人々の健康・安全・安心・豊かな食生活に貢献する」を理念としています。

地産地消にも力を入れており、地元の兵庫県産小麦を使って開発した3製品は、ひょうご推奨ブランドにも認証されています。

(井上太陽、臼井浩之介、加藤鴻、河野賢)



男女ともに働きやすい環境づくり

助け合いの社風

増田製粉所は2004年（平成16年）、神戸市の「こうべ男女いきいき事業所」に選ばれました。男性が多く女性が少ない職場において、男女の性別にかかわらず評価し、お互いを尊重しながら仕事に取り組んでいます。

男女ともに働きやすい環境づくりのひとつとして、育児・介護休業制度や育児・介護短時間勤務制度を設けました。女性社員2名がこの制度を利用して、職場復帰を果たしています。復帰が実現した理由に、上司や同僚がお互いの仕事を把握していることによって、急な子供の発病時でもフォローしあう関係ができていることがあげられます。

この制度を利用した男性社員の実績はまだありませんが、取得できる環境はあります。他にも半日休暇制度や、年度内に消化できなかった有給休暇などを最大40日まで積み立てられる制度もあります。

密なコミュニケーションが制度を支える

このような環境を支えているのが、社員どうしの密なコミュニケーションです。100名弱の社員数のおかげでお互いの顔と名前が一致していること、その結果、コミュニケーションがとりやすく、常に協力し合う社風があります。このような社風も後押しし、同社では年次有給休暇とは別に、育児目的休暇が取得でき、子供の病気や行事参加、介護のための休暇を取得できる環境が整いました。



【社員の方に質問しています】

（荒井那月、荒川真菜、熊代奈那子、野村茉由、長谷川恵）

女性が活躍できる秘訣

2001年（平成13年）に役割成果主義人事制度を導入し、年齢・性別・学歴で判断することのない実力主義を進めました。その結果、現在、女性社員は17名（正社員10名）中、役職者5名、この5名のうち管理職に2名が登用されています。お話を伺った方によると、約25年前の入社時に、女性が当時では珍しかった管理職についていたそうです。そのため、現在も女性社員が気兼ねなく相談ができる環境にあります。これらは、女性に昇進の機会が巡ってきた時も、失敗を恐れずに挑戦できる社風につながっています。

男性社員からは、「入社当時と比べて女性が重要ポストに就いている割合ははるかに増えていると感じる。」とのこと。女性管理職からは「管理職の仕事と家庭の両立は大変ですが、責任ある仕事に携われることは良い経験になる。」と伺いました。

就職活動を始める皆さんへ

総合職、一般職の区別はありませんので、研究職、品質管理職、技術や物流、総務などの事務職、営業職、工場勤務など幅広く採用しています。募集は、インターネットやハローワーク等を通じて行っています。

増田製粉所の社員の方々から「就職活動中は、どの企業に就職するか悩まれると思いますが、神戸で根強く存在する増田製粉所を気に留めていただきたいです。」

「自分に合った企業を選んでほしいです。」

「Instagramを開設しているので、興味がありましたらフォローといいね！をお願いします♪」という声をいただきました。

ぜひ、Instagram「takaragasa」で検索してみてください！



今回の取材で、有名スイーツにも「宝笠」が使われているとお聞きし、そんなすごい小麦粉を作っている会社が地元にあったのだと本当に驚きました。

（上野大樹、上村悠真、中田洋介、辻泰一）

（神戸学院大学経営学部藤原由紀子ゼミ4年次生）